





自序

夫算者意數之跡矣。蓋聞天地之至數始於一，終於九焉。一者天，二者地，三者人，因而三之，三々者九。所以起於九數之轉化也。愚意古今算工，張教之說，千緒萬端，然不洞達者，不能得解厥理也。故舉品題并圖及目錄而纂記之矣。而亦諸等法有優劣二門也。雖精萃之法，深遠而有難得其理，雖為迂劣之法，有易得其理，且亦雖有



所可取用於同式類例而滯于異物名或  
 泥于異形像惑之不來故往往以同例法  
 註之或亦在于口一十百千万名目稱之  
 對算馬而恐有失目也可慎之矣于此書  
 迂濶式法數多記之由欲令初學者了其  
 意義而自得以之為本旨矣予不量短見  
 雖深愧寡聞為同志者豈小補乎

百寬文三年癸卯三月日

村松九太夫茂清

其初定之見活領大間寺



筭組卷一目錄

救の類	定法	四丁ノミ
因系係除	三十一回	七丁ウ
系並係並	二十七回	十丁ウ
因係並	八回	十五丁ウ
系並の位並	十回	十七丁ウ
積並	八回	二十丁ウ
相並	二回	二十丁ウ
差並	三回	二十丁ウ
盈胸		



目錄終

合八十九回

一ノ巻

八十九回

二ノ巻

六十七回

三ノ巻

百四十回

四ノ巻

百四十九回

五ノ巻

百二十一回

都合六百六十六回

用字

因縁

かゝるうらうら暗して一字出てし甲

改陳

うらふらうら累して一字をかくら

相因

かゝるうらうらお糸し甲

自因

日教とひあさうらうら自糸し甲

再自因

日教と二度かゝるうらうら再自糸し甲

冪

自因の積とひうら

和

まぜあさうらといふうら

併

あさうらといふうら







曰又

一京	一秭	一溝	一正	一極
兆	万	万	万	万
十京	十秭	十溝	十正	十極
百京	百秭	百溝	百正	百極
千京	千秭	千溝	千正	千極
一陵	一壤	一澗	一載	
京	秭	溝	正	
十陵	十壤	十澗	十載	
百陵	百壤	百澗	百載	
千陵	千壤	千澗	千載	

一十百千萬十萬百萬千萬萬萬曰億

萬萬億曰兆  
如前呼之一億十億百億千億萬億十萬億一萬億  
千萬億萬萬億曰兆是也後倣此更不繁說

萬萬兆曰京。萬萬京曰陵。萬萬陵曰秭。萬萬秭曰壤。

萬萬壤曰溝。萬萬溝曰澗。萬萬澗曰正。萬萬正曰載。  
萬萬載曰極。萬萬極曰恒河沙。萬萬恒河沙曰阿僧祇。  
萬萬阿僧祇曰那由他。萬萬那由他曰不可思議。萬  
萬不可思議曰無量數。

數小 數度 數量

分厘毫糸忽微纖渺塵埃  
次十分

引丈尺寸分厘厘  
下小數  
次十分

斛斗升合勺抄撮圭粟  
次十分



衡數

一黍 十黍  
 一銖 十銖  
 一分 十厘  
 一兩 十錢  
 一斤 十斤  
 一秤 三十斤  
 一鈞 三十斤  
 一碩 四石

和漢尺三寸  
 用者規

產數

町 十反  
 反 十畝  
 畝 三十步  
 步 定步也  
 下八小數次方十也一畝法古八三十  
 六步今八三十步唐八二百四十步今也

諸輕重

水	標	青石	鐵	錫	鉛	銀
一尺 七貫四百五十目	同 八匁	同 二十八匁	同 六十目	同 五十六匁	同 八十目	一寸 百六十目
栗石 三貫八百五十目	宋 三百三十匁	檜 同 三匁五分	砒 同 百二十目	真鍮 同 六十二匁	銅 同 六十四匁	一寸 百二十五匁

周乘定法

一	一	一	一	一	一	一	一
七	七	六	五	四	三	二	一
七	二	二	四	一	二	二	一
七	五	六	五	五	四	三	二
十	三	十	二	五	八	六	二
七	六	六	五	二	三	三	二
七	六	六	五	二	三	三	二
七	六	六	五	二	三	三	二

砂 定步 二千九百貫目  
 土 定步 十貫目  
 右經重八匁と忽し細工とを以てお違有る故大凡也  
 ○周乘定法  
 合千五百五十五



四七	二八	五七	三五	六七	四十二
七七	四十九	一八	八	三八	十六
三八	二十四	四八	三十二	五八	四十
六八	四十八	七八	五十六	八八	六十四
一九	九	二九	十八	三九	二十七
四九	三十六	五九	四十五	六九	五十四
七九	六十三	八九	七十二	九九	八十一

帰陳定法

世俗ニハ筭見一ト云る

- 二陳法二進ノ十  
一ある時二進の二十を二度のうけハ天作ノ五と得る也
- 三陳法三進ノ十  
一ある時三進の二十を三度のうけハ三十一と得る  
二ある時六度のうけハ三十二と得る
- 四陳法四進ノ十  
一ある時四進の二十を二度のうけハ四十二と得る  
二ある時八度のうけハ五と得る

- 五陳法五進ノ十  
六陳法六進ノ十  
七陳法七進ノ十  
八陳法八進ノ十  
九陳法九進ノ十  
十陳法一進ノ十  
十一陳法十一進ノ十

- 一ある時五進ノ十を二度のうけハ六と得る  
二ある時十度のうけハ六と得る
- 一ある時六進ノ十を二度のうけハ六六と得る  
二ある時十二度のうけハ六六と得る
- 一ある時七進ノ十を二度のうけハ七二と得る  
二ある時十四度のうけハ七二と得る
- 一ある時八進ノ十を二度のうけハ八二と得る  
二ある時十六度のうけハ八二と得る
- 一ある時九進ノ十を二度のうけハ九二と得る  
二ある時十八度のうけハ九二と得る
- 一ある時一進ノ十を二度のうけハ二と得る  
二ある時二度のうけハ二と得る
- 一ある時十一進ノ十を二度のうけハ十一と得る  
二ある時二十二度のうけハ十一と得る

あるとハ三十あると四つふのうけハ進の二十と七度のうけハ  
四と七と進の二十と六つのうけハ進の二十と七度のうけハ  
六三進のうけハと進の二十と七つのうけハ進の二十と七度のうけハ  
のうけハと進の二十と八つのうけハ進の二十と七度のうけハ  
のうけハと進の二十と八つのうけハ進の二十と七度のうけハ  
のうけハと進の二十と八つのうけハ進の二十と七度のうけハ



七

休やすみふとあそびをあらためてあそぶはむねの  
目めをあててくはふ合あひ

五分判 百五十枚あり ば 五枚をとり  
 六白 三十七枚二分  
 淋ふく 五枚をとり 五枚の田をとり のうり金

三斗みずの儀十八儀と二斗みずありけりすけ数集しうしゆの

粥い不い回い儀いとい石いといとい煮いてい儀いよりい是いへい三い斗い之い末いをい煮いす  
 ありふあり

穀一石あり三斗入りて粃俵二箇  
答曰二俵十二斗

斛小曰一石を量て三斗み束とり量てのそに量る

六尺五寸の間は十二尺三寸ありは敷は尺は敷はいはくはくはくはと

八丈一尺

彬ふいそ間と尺を實小五尺六寸と法うて間  
 佐ふとかり新してあふふあふ

尺較十六丈二尺あり是を六尺五寸同して幾間了

富 二十四百六足

漸く日実小尺敷を垂法六みを以てのより量にあら

銀三十枚と二十八枚あり以惣銀同糸銀との  
大三百十八枚

藥水くすりと實水じつみづとを各おのづかに五斗ごとう三斗さんとうを法はふ也なり







取尺を以て 取代をのぞく 一尺の代紙を以て  
 取代を以て 取尺をのぞく 一尺の布尺を以て  
 取尺を以て 取代をのぞく 取尺を以て  
 取代を以て 取尺をのぞく 取尺を以て  
 取尺を以て 取代をのぞく 取尺を以て

今一級ふ三百二十張宛 宛積ふ二十八張ありい張敷合て  
 八千張也 たりよ一冊をかりて四

答 二十八張を以て 三百二十を以て 八千張を以て  
 八千張を以て 三百二十を以て 八千張を以て  
 八千張を以て 三百二十を以て 八千張を以て

今教書二百八十石五代紙八費目 一冊一分二十リツ也  
 一冊二分二十リツ也

ば四本の内二本をかりておのゝとす

答 右を以て 取代をのぞく 一尺の束敷を以て  
 取代を以て 取尺をのぞく 一尺の代紙を以て  
 取尺を以て 取代をのぞく 取尺を以て  
 取代を以て 取尺をのぞく 取尺を以て  
 取尺を以て 取代をのぞく 取尺を以て

今級四十間横三十分のや一尺あり 束敷を以て 答  
 千二百歩

ぬふ田は其の同を以て 横の分を以て 束敷を以て  
 又束敷を以て 束敷を以てのそけ八横の 間を以て



○歌集

今六尺寸の間百十四尺一尺あるを六尺間みより  
幾同と云 **答** 百二十三尺四尺

彬小曰実小同敷を垂六尺み寸を局估小案して  
七十四丈二尺をゆきを六尺を以て隙若小あり

今布一丈んあり長二丈八尺代根み長也け移らん小  
移して根二丈みト小は布幾尺と云 **答** 二丈二尺寸

彬小曰二丈八尺を垂二丈みトを案み長と隙合案  
今布一端より長二丈八尺價み長こ是小移して一丈二尺

み寸の代根をより **答** 二丈みト  
彬小曰実小一丈二尺み寸を垂み長と案二丈八尺を

以てのそにありと小なり

今松板あり松一本の代六十四名板一本の代七十二名  
板み石六十七本の代小板幾本と云 **答** 板み百四本

彬小曰松敷を垂六十四名と案七十二名と隙合  
今田二反三畝十又歩の毎反の斗代一石み斗ありて

高幾石と云 **答** 高二石み斗二斗み人  
彬小曰反畝ありて畝よりトを法二十を以て隙二反

三畝半とゆき小一石み斗と案て若小あり  
又実小石と云 **答** 由てそのそに斗代を案  
斗代とて隙と田敷とゆき

今穀三十又石の代八百七十又こ是小移して八石七斗五



半の代銀とす **答** 二百十八石七斗

朔日八石七斗五升と並八石七斗五升と来て三十石とすのききあるの

**今** 穀三十石三斗價銀八百七十五文之是小部一て

**答** 銀二百十八石七斗五升と並 朔日小同さく  
五石小部石と兼代とす陳き代石とす  
代と並石とす陳き五石と陳代石とす

**今** 元銀一貫二百月三ヶ月の利銀七十二文之但百月三ヶ月三石五斗の利也但一石かくして

三ヶ月三石と兼五斗七十二文と陳元銀と  
元銀三石と兼又三ヶ月と来て 利銀とす

**今** 元銀三ヶ月と兼五斗七十二文と陳元銀と

**今** 人教二千五百人一日三斗一人五合技指して三十月は

技指米幾何と **答** 三百七十五石  
朔日人教小五合と兼十二石又三十日と兼五斗五合

又三斗人教三斗と兼五斗五合と陳技指とす  
日教三斗と兼五斗五合と除人教とす

**今** 四つもの知事十四万石を以て代小三つ五合と

酒と時高幾石と **答** 高十六万石  
朔日高と来て四斗五合と兼五斗五合と三斗五合



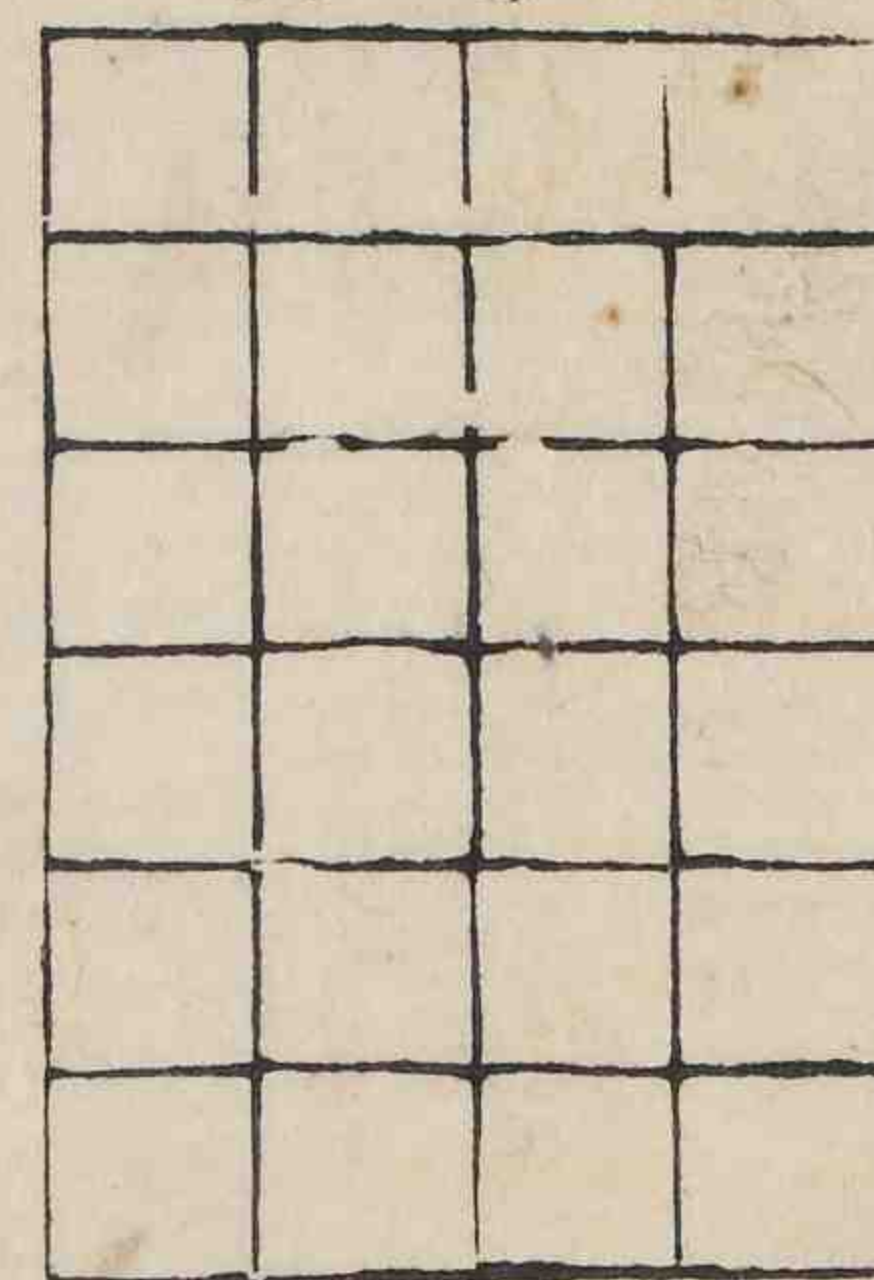
そのまゝにあらう

今穀六十六石七斗九升二合五勺穀六十六石六斗九升二合五勺  
 價金幾何と問 **答** 金三十三兩一分銀十兩七ト

樹田穀を賣る一石六斗とてそのまゝ永三十  
 又賣四百九十文とて三十三兩一分の代小三十三兩  
 二百五十文外納り二百四十文とて三十三兩一分と  
 かれ八十四文七トとぬく  
 たとへ永を賣文と八合をぬの値名くらふべし  
 を賣文八二兩七石五十文八三分とて百文八二分と二百  
 五十文八を分る

今 樹田間換田の地を賣る問 **答** 二十四歩

樹田間換

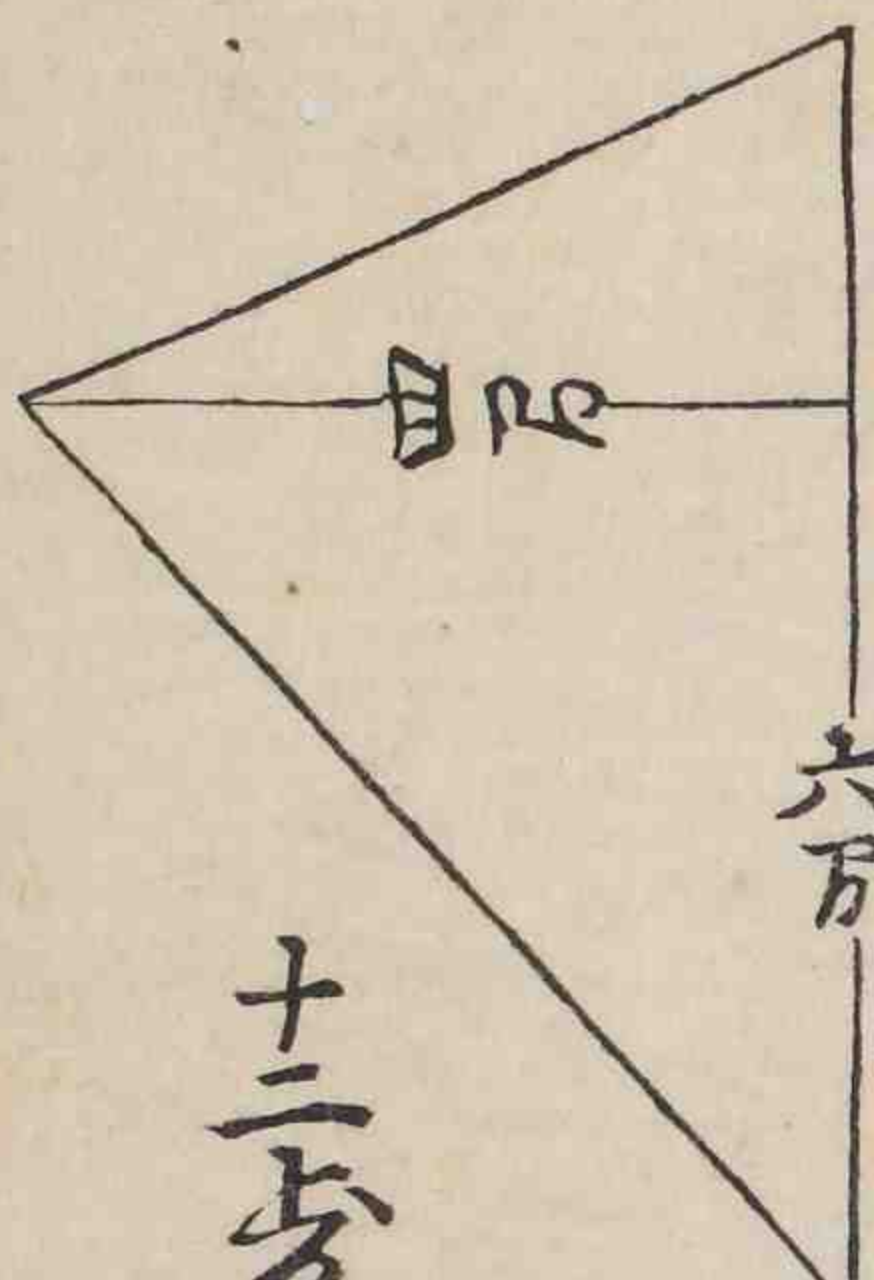


樹田間換おまゝにて合算  
 九十九

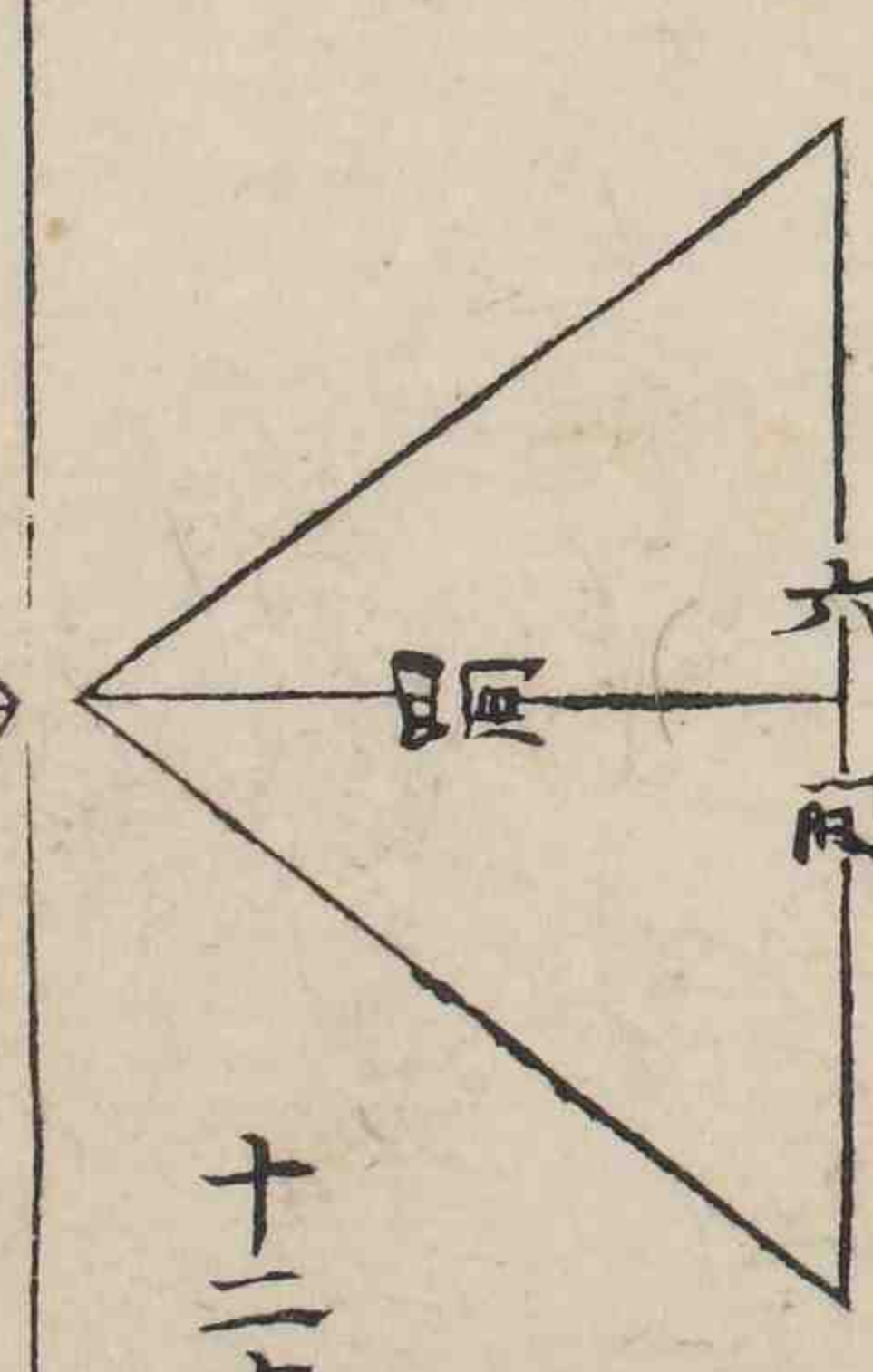
勾股田



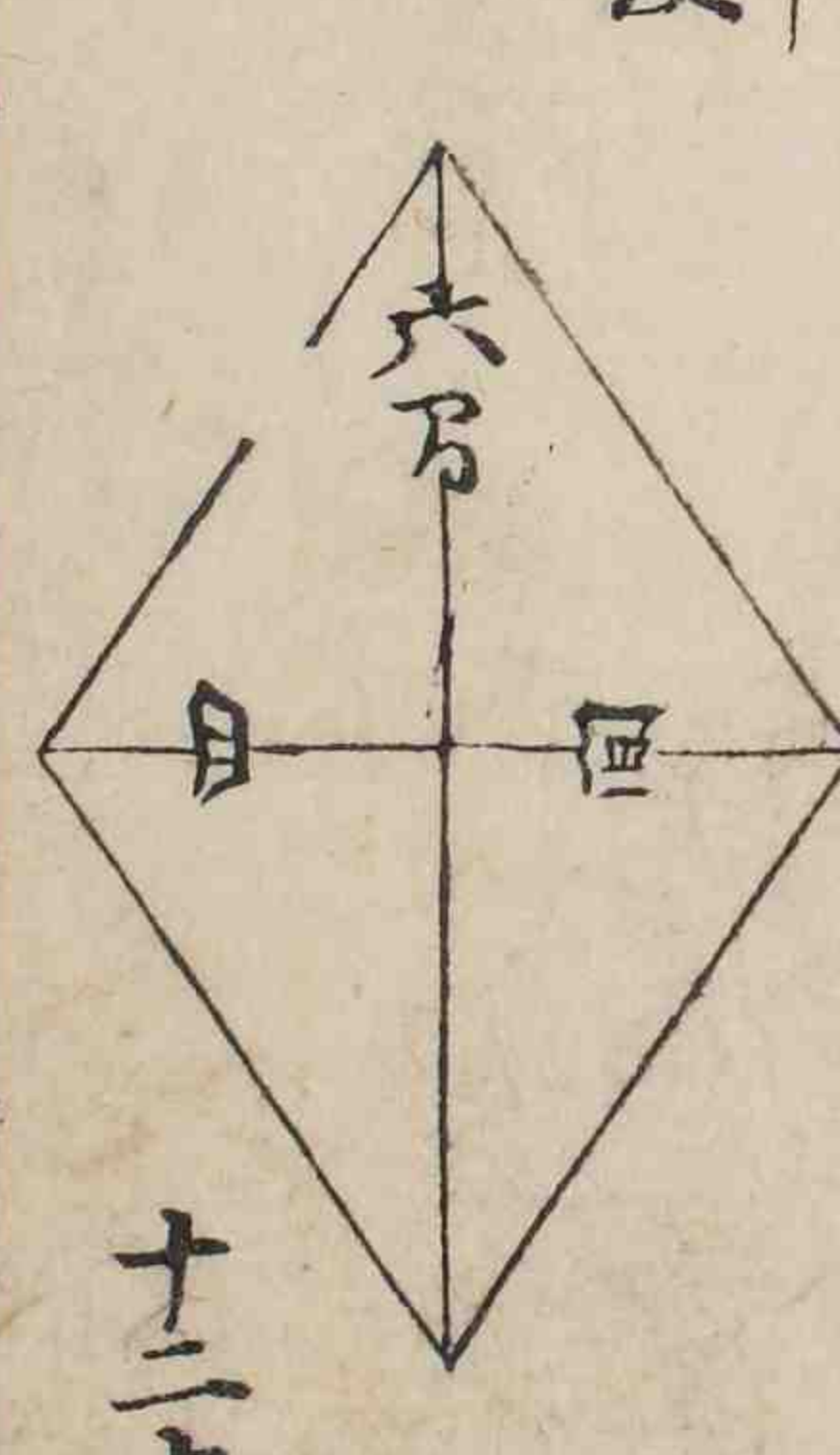
山形田



山形田



菱形田

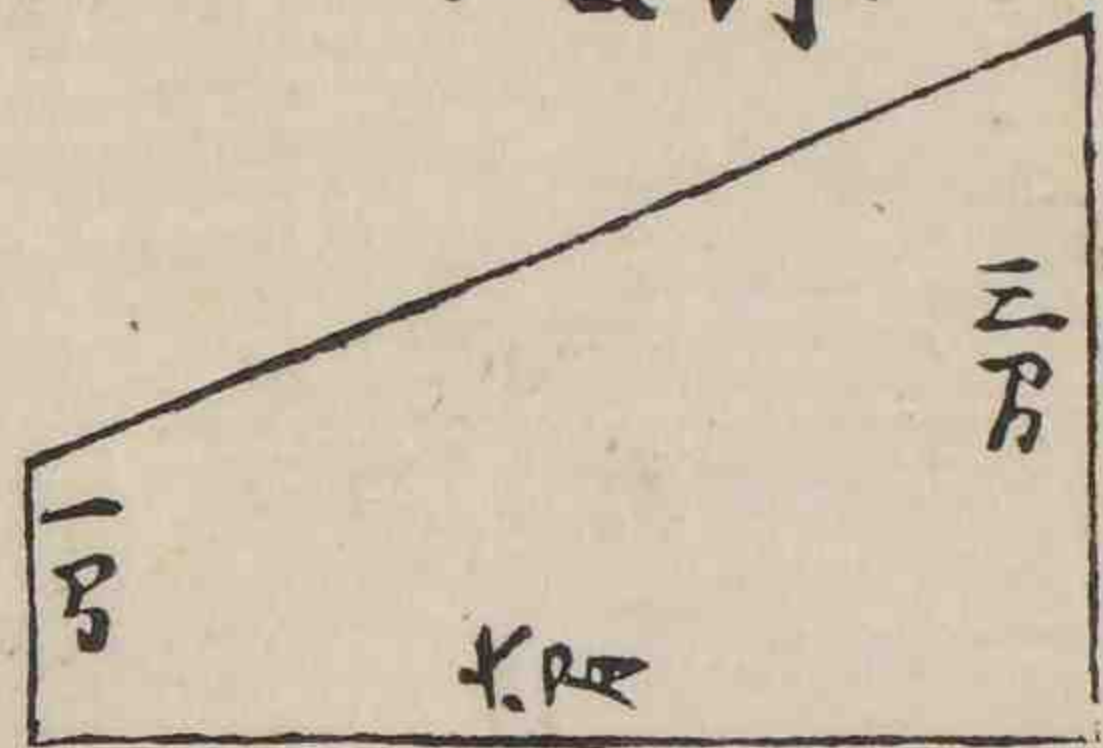


右勾股田山形菱形の樹田を賣る問 **答** 十二歩



柳曰各段を横とお繋て地の横換田の量より分ちて  
二つに除はるゝのこ

片狭田



今片狭田の廣横三間換換一回横六間五  
歩敷と問 答曰十二歩

柳曰三万二万とくく横四万二成是二段の  
六万と糸娘の量二十四歩とわわして合算  
右の品の量おねあそ横換を四時ハ

歩敷を横して横換の量より分ちてをさるゝ  
歩敷を横して横換の量より分ちてをさるゝ

今平帯の段の寸より横換の寸と問 答曰如右  
柳曰段の寸とわわして二四とわわして

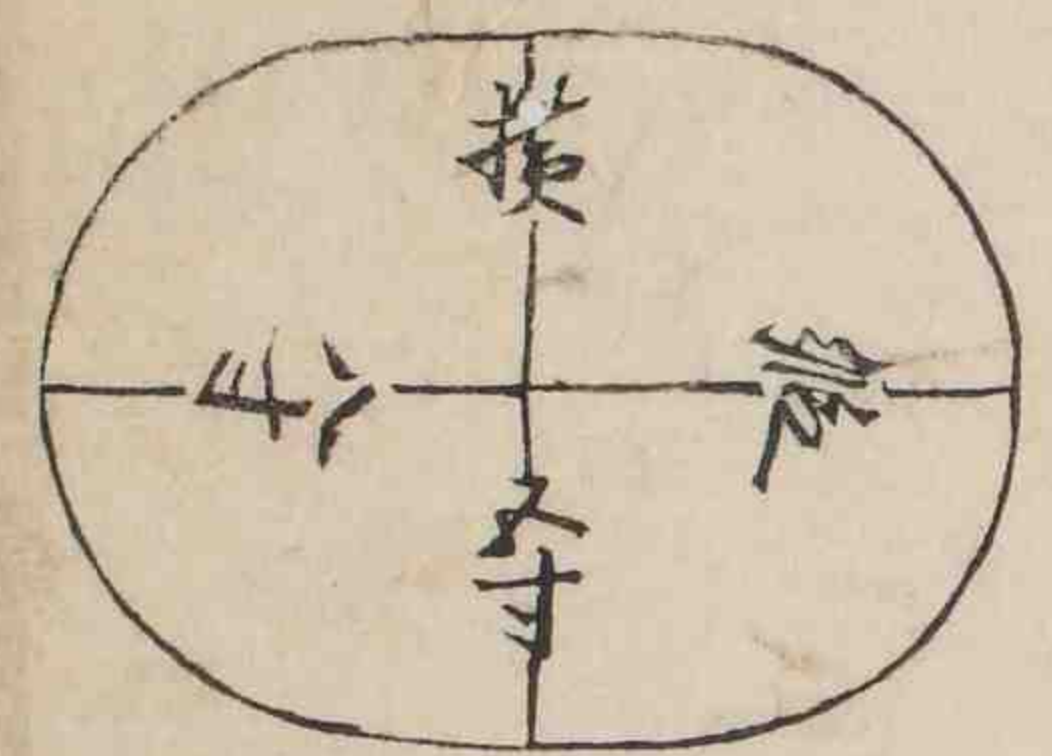
平



今帯徑五寸より横換を問 答曰十九歩六二

柳曰徑寸と自圓して二十歩法七分八分と糸て算小あり  
○又圓と自圓する時八七厘九六二と糸して三小あり

横



今如帯徑八寸横換寸より寸換と問 答曰三十四  
歩六分二寸五分○平帯と横換と二形を用ひる  
柳曰八寸の円より寸引法三寸五分と糸十歩とわ  
別二寸と自圓して法法七分八分と糸して  
十九歩六分二寸五分と糸して算小あり



十二万三千二百五十分

五丈四尺六寸

八丈二尺二寸五分

五丈四尺六寸

今、是の縦横の同尺より、歩数を

答曰

同歩百歩

尺歩四千四百三十六歩二尺

此曰縦の尺と垂尺より下位を六尺

寸とす、そのより十二万中、成又横の尺と垂尺より下

位を六尺より下位を八尺四分、成是と在る、是より合算

○又曰縦の尺と垂六尺とす、同位に垂八丈二尺、別小

横の尺と垂同より下位に六尺と垂六丈四尺、是と在るの

尺数に垂四千四百三十六歩二尺とぬく、是と同歩の法四十

二万三千二百五十分、是より

一丈四方、二方一尺、一歩百歩也

一尺四方、二方一歩、一歩百歩也

一丈四方、二方一歩、一歩百歩也、何れ百歩とす、一位上ル

今、縦一尺二寸、横八寸、ある尺の箱の坪数を問、答曰四百八十坪

此曰縦の寸と垂横の寸と垂六寸、又あると垂て合算

又右の積より、縦横の内一ツをわけて、問、答曰

縦は横と垂

積と垂

縦より垂と垂

横より垂と垂

縦より垂と垂

横より垂と垂

○次、中位也

今、送のり六里十三町、中八間三尺の、ある尺、尺一歩、一人宛



むさて幾人るいんごう **答** 一万七千九百三十八人

洲曰里町同又を垂て六里小二十六町を衆二百二十人  
又町より上へ六十町を衆一万三千七百八十八人又同より上へ六尺を衆八千九百六十二人是を又尺を以てのそ記さるのり

**今** 後一費文いんごう 身銀十六文ありて銀一匁ハぜふ幾文か  
あふふと **答** 六十文

洲曰一費文と垂九分六厘を衆九百六十文をぬきを  
十六文より除きこころ小なり

**今** 松三費九百三十月を價あたい 後一費六百三十六文か  
るはり幾文あふふと **答** 二匁ト

洲曰後と垂て百より上へ九分六厘を衆一匁五厘 七十二文を

つて松の目と除き小合○又後百文ハ松幾文なる  
曰後と垂て十より上へ九分六厘を衆一匁六厘 七十七文半  
とつて松とのそ記二百四十目をぬき百文の松目之  
○又右の松と田文より玉敷幾何又玉敷一つの價  
幾文と曰田文を以て松目を除き玉九百八十二文を  
ぬき玉敷を以て一匁五厘七十二文を衆き玉一つの代  
き文六分をぬく

**今** 沉香三十一匁トを價あたい 金三分三厘小費時金一分二厘  
香幾何と **答** 八匁四厘

洲曰三分三厘を垂て金より上へ四分を以ての所は  
三分七厘をぬきとつて香を衆き小合



今伽羅二十二文三分三厘五代銀入牧三十三文四厘  
銀一枚ニ付伽羅幾多ニ付 答曰伽三文八分五厘

彬曰銀牧目を与て十兩下と四十二文と陳入牧  
八分とぬきとて番を陳き番ふ合

今三斗六斗入の銀百文を便三兩とて賣

金二十三文三分二厘

代

銀六十二文八下 但一兩ニ付六十四文  
銀一兩三百四十八文 但一兩ニ付四百文

右金一兩ニ付幾石と問 答曰一石四斗八

彬曰百文と金三斗六斗と金六十文 實と別ふ金と  
与て金十兩下と四文とて陳 二十三文 又分り

トと四分とて陳永二十三文八百七十文とぬ○又の  
銀と与て六十文とて陳永八百二十文とぬ○又後を  
与て十兩下と九分六とて陳 一兩三百  
とて陳永三百文とぬ三兩保合して二十文賣文を法  
とて實とのとぬとて合

或ハ代とある銀は作りおきとて法とて或ハ石  
代は銀とあるハ一兩保しておきとてありとてとて  
右の銀と与りて生利とぬ

今永三斛三斗二斗六合と金一兩ニ付一石四斗賣りて  
代金幾何と問 彬曰一兩ニ付 異賣といふ二文と。一兩の  
十分の三と。一兩の百分の七と。一兩の千分の  
六といふ。○今初より二兩ハ銀二兩三百七十文といふ



前の異郷を母として生るるより何より一畝の相  
場より隙たるもの永よりいりていりて一畝の相  
今穀二十二石八斗を金一畝二分一石六斗割りて代金  
よあそ銀十両とくび銀一畝二分幾多あるや

同答 六十月

湖曰実小石敷と云一石六斗より隙永高費二百五十  
石内十四貫文引銀二百五十を以て銀十両と隙永石  
文分銀六両とぬを十倍して六十月を永一畝の銀に

○積産

今六尺六寸の窓を幅六寸のまんどろと六本お時間

おのく幾寸と同答 あつてみす

湖曰六本小幅六寸と云三を以て六尺六寸と数じ  
止餘三尺の實より六本に定法一本加へて隙永金算

今六尺六寸の海とありゆんど六本お時子と同と問す  
て答算すつと問答 六寸

湖曰六本を倍して定法一本加へ十三本を以て六尺六  
寸とのそとて人のこと

今送込人より一日八里中つゆ也け者二十四日以前

おつて是と隙永算して送時花押ハ一日四十二里  
中つてお時算日小送付と問答 六日

湖曰八里算と云九日と云永二石実より一畝に十二



里と云て内八里中城て然と云て隙は幾多合  
今方三寸の落八百四十枚の代立四寸のより幾枚なる

と問答曰 四百七十二枚す

彬曰三寸より四寸に九は八百四十と乘 七十五

実より一ふ二寸のより四十六歩と云て隙実幾多合

今六尺六寸の隙凡る方四寸落幾枚あると問 答曰

百八十七枚す

彬曰六尺六寸乘合 千三 実より一ふ二寸より四寸

十六歩と云て実と隙と幾多ある

今周り三尺の把八百四十把と云て四尺より五尺なる

幾把と問 答曰 四百七十二把す

彬曰三尺より四尺のより四十六歩と云て実と

実より一ふ二尺のより四十六歩と云て実とのより幾多

あるは略法也 実尺の時の法より尺より一

今五尺の歩積同三十ふ歩あるを幅二寸ふ分の板と

二寸足ふく時板敷と問 答曰 二万九千八百七十八枚

彬曰板幅二寸より三寸と乘 五 以て同歩 四千二百

隙と同歩一歩の板敷 八百四十枚 と云て是より三十八歩と乘

是より合〇又軒より二寸足中より一寸ふ分足と用く

二寸足の時の三歩と云て一寸ふ分足と用く

今縦百二十間横九十間の庭小方一尺三寸のより十八万

枚敷時庭幾間あると問 答曰 場のより一



宮比三千六百步

七千二百步

九十一

援九十間

芝士二石步

船百二十間

芝七千二百步

康熙三十八年

四十六

襦曰一尺三寸と  
尺得て尺  
歩一歩六  
分九リは小  
十八万を乗て

三十万四千二百步

是と同法の法

四十二  
步

七千二百步

飛百二十七等條八撥六十万敷之又撥九十間と以て

實之陳八級八十同也。○要石土砂延々と同之通。

紙一尺二寸横八寸の幅を是へ方寸九分源

二寸七分の升とて幾升入との  
**答** 七升四合四抄三撮二

粥ヌカ曰ヌカ穀ヌカの積ヌカと斗ヌカふ寸ヌカ四百八十坪ヌカを實ヌカさるる年ヌカ

の旁に九分を糸にして二十四又源三寸七分を糸

六十四坪八  
分二リ七毛

是を一竿の法として実を陳若令

本一車馬厚八寸幅一尺二寸長一丈六尺也公本の代

小長二丈二尺の四寸角等を三片と四  
**答曰** 八本

柳白楸一尺二寸小厚八寸と糸<sup>九十</sup>七<sup>二</sup>長一丈六尺と

糸 一万八千三  
石六十坪  
と実を  
ふり  
四寸  
角  
十六  
是  
三丈二尺

上系二十九呼法一て傳實之之小あ

○ 相夜和利之

倭令<sup>たつと</sup>不<sup>ふ</sup>義<sup>ぎ</sup>和<sup>わ</sup>内<sup>うち</sup>義<sup>ぎ</sup>和<sup>わ</sup>と云<sup>い</sup>ふ<sup>ふ</sup>二<sup>に</sup>和<sup>わ</sup>の<sup>の</sup>時<sup>とき</sup>一<sup>ひと</sup>個<sup>こ</sup>

と五兩りの二分をとりて一個二分を二兩り送  
内二兩りとよへ一個に五兩りか二分とりてあり

八分是内和りの法之目要及云三和り四和り七和り

今銀百二十三石五斗七升二合利本增上越銀幾何



と四**答**百六十三石七斗

粥曰一個と重二和り申加へ一個二分半を法して  
本根小寄てこゝへ合

今根元利大百六十三石七斗八厘五厘外二和り申の時  
え根幾何と四**答**百二十三石

粥曰惣根と重て二斗とて除き合

又利根計と四時八元根は二分半と来て二十目とみは  
今穀百二十三斛と重と内二和利半増て惣根いづ

と四**答**百六十四石

粥曰一個と重内二和り申減七分半とて石を除き合  
今穀六百十八石八斗一積一石二斗八升二斗つて小定て

石の内とわし一斗八升幾何と四**答**十八石

粥曰惣石と重て三斗と重千八百五石と二石三斗と  
て除き合但二石三斗と三斗と三和りし三斗と三分と

今全千三百八十あるとと下二人にわすと時上より下  
人ハ二和り半減りて上人の金を四**答**七百八十ある

粥曰一個と重法上るは一個と重て二斗とて除き八分を  
法し法合て一個八分とててる金を除き合はあ

今的惣矢七百七十斗門中矢六百十六斗ありと  
何分の中と四**答**八分ノある

粥曰中矢と重惣矢救て除き合但十分とて二分の元  
今関の惣後と東南の惣人足と割あつる丹東ハ七千



三百石南四百七十五石の所也又先きの書信より八千四百石  
の場より六百七十二人なりけり此を以て今の數より  
人は何程なりかと問 **答** 東郡六百八十人南郡二百七十六人

郡曰東七千三百石を以て六百七十二人を乗する八千四百石  
より陳東の人数をぬく又南四百七十五石を以て六百七十二人  
を乗する八百四十石を以て陳南の人数をぬく

又八百四十石を以て六百七十二人を陳  
南の人数をぬく

**今** 京より江戸まで通る處百二十里小定めたりと十八石を人  
二十人より持ち付一人一て幾里宛持ち又幾里づゝりて持  
かゆるものと問 **答** 一人の持送七十二里宛○持送る率四里八分  
郡曰百二十里を以て十八石を乗する千八百六十人として

陳より京へ金○又七十二里と乘して十八人としてのもに  
四里八分と持送るは四里八分毎一人り持ちかゝるなり○又  
十八人より三石を求る郡より四里八分毎一人り持ちかゝる

○差分

**今** 金百四十八あるを十二段に割る二ツに割る一番の金  
幾なりと問 **答** 一番八十ある○二番六十八ある

郡曰金全を五段に割る十二あるを以て割るして五段に金

**今** 金の金一ツ銀の金一ツあるを五段に割る四段目之銀の金より  
金の金割る事三百五十二あるを五段に割る四 **答** 銀金  
一貫八百二十四ある○金金二貫百七十六ある



初日共の四角月を差して差三石五十二支城して廿二支  
六百四十八支と答教二ツに割る限の月とぬく

○盈胸

今七個宛おれ八六個あふゆ又九個宛おれ八八個あふゆ  
個教人教幾何と問答曰七人。○又十又個  
初日條六個と不足の八個を合せて十四個を實と一あふ  
あふ分は九個の内かく分は七個を減して二個を  
法として實と除七人となり。○七人あふ七個を合  
四十はは餘る六個を合せて四十は合。○又法七八お茶して  
九個  
又十六。○六九お茶又十四二教合して百十個を實と一して

右の法二個を以て除み十八個をぬく

今七個宛おれ八六個條又六個ツおれ八十三個條を是

個教人教と問答曰七人。○又十八個

初日あふ分は七個の内かく分は六個を減して一を  
法と一あふ餘る十三の内かくあふ六を引たり  
七個と法を以て除七人となり。○個教と初日最下月

●お法よ七ト十三と茶九ト。○六と六と茶合六ト是を以て  
右と減トたり。又是を法一と以て除み十八個をぬく

今九個宛おれ八八個は又八個ツおれ八一個あふゆ是

人教個教と問答曰七人。○又十八個

初日あふ分は九個の内かく分は八個を引たり一を



法よりふりあはれぬ是の内かき不足を引減七個を  
 実として法を以て除七人を得く●お法ハ八条にて  
 六十四〇一と九お条て九個を以て右を減一ゆりみ  
 十八を實より法一を以て除個数をぬく

箕俎一卷終



箕俎卷二目錄

積立	五回	二十ノリ
相應	十七回	三十ノリ
差分	五回	七ノリ
盈朒	二回	八ノリ
角法	十三回	九ノリ
歩積	八回	十四ノリ
坪積	八回	十六ノリ
田平方	六回	十九ノリ
田立方	三回	二十ノリ
目錄終	合六十七回	



